

社会主義は理想なのか
～「共産党宣言」に学ぶ

第11回 関東ブロック

ロシア革命後の社会主義世界体制の
確立と発展、崩壊および中国社会主義

はしめし

私たちは先月号まで「宣言」に書か

れた社会発展の法則すなわち唯物史観を学習してきました。今月号では、マルクスの発見した唯物史観に基づいて「宣言」を文字通り実践したロシア革命、その後の社会主義世界体制を一望します。そして、ソ連、東欧の社会主義はなぜ崩壊したのか、それに比して中国は社会主義市場経済を導入して、驚異的な経済成長を遂げてきたのは何か、解き明かしていきます。

ロシア革命後の

社会主義世界体制の確立と発展

司会II今から100年前、1917年レーニンの指導の下にロシア革命により労働者の国家ソビエト社会主義共和国連邦が成立しましたね。まさに宣言に書かれた歴史的必然性を実践したと言えます。どなたかロシア革命について説明してくれますか。
U II当時のロシアの人口は約1億2千万人、労働者は1千万人、近代的労働者は300万人に過ぎないヨーロッパでも遅れた国家でした。ロマノフ王朝

の絶対専制(ツァーリズム)を維持する封建的な社会体制でした。産業革命による生産力の発展、工場労働者の増加などにより1917年2月、ロマノフ王朝は倒されました。(二月革命はブルジョア革命)レーニンは、ヨーロッパ革命への導火線としてロシアを社会主義に移行させようとしています。(十月革命はプロレタリア革命)圧倒的多数の農民に貴族、大地主の土地を分配し、労農同盟を基礎にして社会主義へ移行する戦略です。

K IIその後ネップ政策をとります。これは新経済政策と言って、食料税の導

◆みんなの学習講座



ソ連映画『戦艦ポチヨムキン』のポスター
1905年ロシア第一次革命を描いた。この事件を契機
に1917年2月革命、10月革命へと続く。

入と税納付後の残余農産物を市場での自由販売を認め、個人の小企業を許可するとう、市場原理の部分的導入ですね。国家により資本主義経済を統制しようとなりました。

U II そう、レーニンはこれを共産党が指導する「国家資本主義」と言って、農民の協力なくして革命は成功しない

と長期戦略をとったんだよ。ところがレーニン死後、ノーメンクラトゥーラが発生し共産党が変質するんだ。

M II ノーメンクラトゥーラとはソビエト社会主義に君臨した特権階級です。約60万人と言われる共産党エリート集団が、1800万人共産党員を支配し国有財産をかすめとり、甘い汁を吸って腐敗していきます。これは幹部の公選制から任命制に代わって民主集中制が崩壊したからです。ゆえにソビエトにはプロレタリア独裁は存在しませんでした。

司会 II プロレタリア独裁は後程議論するとして、ロシア革命によって世界は大きく社会主義世界体制へと進んでいきますね。

N II レーニンはロシア革命に続いてドイツなどヨーロッパ各国にプロレタリア革命がおこることを期待していました。その期待は第二次世界大戦後まで待たねばなりませんでした。第二次大

戦後には、東欧諸国人民民主主義革命、

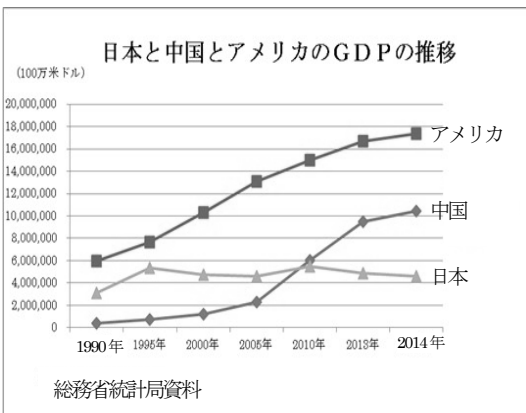
1949年中国人民民主主義革命、1959年キューバ革命、1974年南北ベトナム統一社会主義へと進み、社会主義世界体制が築かれます。最盛期には20数カ国、世界人口の三分の一を占めることもありました。一時期には計画経済により資本主義国よりも生産力の発展に導かれ、教育文化、医療福祉、社会保障の充実が謳われ、資本主義国の労働者階級へも大きな希望を与えました。

なぜ、ソ連は崩壊したのか

司会 II それではなぜ崩壊したのか。先ほどノーメンクラトゥーラについて話されましたが、ソ連崩壊の原因だという人もいますがいかがですか。

K II ノーメンクラトゥーラの発生にはいくつかの過程がありますね。①革命直後の防衛戦争の時期、1918年から

◆みんなの学習講座



KⅡ1990年前後、ソ連・東欧圏が崩壊という考えられない事態が到来しました。社会主義、共産主義の理論は現実には機能せず、経済は低迷し、前述のように内部から崩壊してしまいました。中国でも、社会主義体制・イデオロギーに対する鋭い批判の動きが顕在化し、天安門事件（1989年）と

いう政治体制を脅かす動乱が勃発します。これに対して、鄧小平は、体制批判グループを力で封じ込め、愛国主義を前面に立てイデオロギー的統合を図り、積極的に市場経済を導入し、改革開放路線は、眼を見張るほどの勢いで経済発展を実現させました。これは鄧小平が権力を握った1979年、党中央工作会議で「四つの基本原則を堅持しよう」という講話を行い、政治改革を求める勢力（改革派）に釘をさしました。

それは、1978年、行きすぎた文化大革命時代への文革派批判を強めた全国的な民主化運動が展開され、当時「北京の春」と騒がれ、騒乱が起きたことに起因します。ソ連・東欧圏の崩壊の前に、いち早く共産党は対応したわけです。この翌年の1979年に鄧小平は、四つの基本原則の堅持、①社会主義の道、②プロレタリア独裁、③共産党の指導、④マルクスレーニン

主義、毛沢東思想の堅持、を提唱し、「一部の反乱分子は、あろうことか『人権グループ』なるものは、アメリカ大統領に対し、中国の人権問題に関心を寄せるよう求めた。「この連中があれやこれやの手を使って我々の活動重点の転換を破壊しようとしている」とは明白である」と徹底して批判し、中国共産党の工作指導の正しさを擁護し、その後の発展につなげたのです。

中国は社会主義なのか、

資本主義なのか

MⅡソ連でも革命直後ネップ政策という市場経済を導入したよね。レーニンは労農同盟なしには革命は成し遂げられないと、剰余農産物の市場売買を認めた。中国の市場経済とどう違うの。KⅡ中国の市場経済についてはいろいろな意見があります。資本主義なのか社会主義なのか、新しい社会主義の実

験段階にあるとか。例えば、「アメリカ主流経済学による直接・間接の影響のもとに、中国における経済成長は、社会主義とは無縁のものであり、もっぱら市場経済拡大の成果であり、むしろ社会主義の道やその基盤とされる生産手段の公有制とは不整合であり、すでに事実上、資本主義に向かう軌道にあると解釈されることが多い」(『幻滅の資本主義』(伊藤誠著 P 70)「それは、資本主義市場経済を自然的で自由な究極の経済秩序とする狭いイデオロギーの枠組みに制約された理解ともいえる」(同 P 70)「中国の実験をつうじ、市場経済を活かした社会主義の道が、どのような意味で理論的に可能といえるのか、そこにはまたどのような問題点や懸念が生じているのか、くりかえし思索や検討が加えられてよい課題をなしている」(同 P 71)。

また、中国の持続的成長をもたらし た要因について、『中国政治 習近平

時代を読み解く』の著者、毛里和子氏は以下のように述べています。「第一は、市場化の策定者でもありプレイヤーでもある中央政府および党が、この30年間基本政策において『ぶれなかつた』ことだ。第二に、市場経済を引っ張ったのが、行政体である以上に経済体である地方政府である点だ。とくに地方政府間の激しい競争が成長を牽引した。第三が、成長を支えた文字どおりの主役は、2億6000万人をこえる農民工(農村からの出稼ぎ労働者。戸籍は農村にあり、農民という身分がかわっていないために、中国では農民工と呼ばれる)である。地域的移動に耐え、低賃金に耐えてきた農民工なしに、経済の持続的成長はなかっただろう。最大の貢献者かもしれない。その農民工は、2015年時点で2億6000万人にのぼるといふ」。

この二人の中国論から言えることは、国家が統制し市場経済を導入し、外国

資本も取り込み、経済発展をなしてきた。しかし、その成長を支えたきたのは、農民工といわれる低賃金労働者階級であるということのようです。

U II 中国には資本主義各国から直接投資がされているよね。日本からも大企業だけでなく中小企業まで中国進出している。経済開放区というのがあるけど、どういう位置づけなのかな。

K II 天安門事件を弾圧したとして、海外からの経済制裁を受け、経済は極端に疲弊し始めると、鄧小平は地方に向き、海外からの直接投資で経済の好転を呼び込む多数の経済開放区を建設しました。この経済活性化の主役は不動産の商品化です。改革開放の時代となつて、建前上は、国有・公有である土地の概念を所有権と使用权に分離し、前者は社会主義国家として動かさないが、後者は使用者に権限があるとして期限(15年、30年)をつけて売買できるようにしたのです。こうして土地

◆みんなの学習講座



中国最大の都市「上海」。中国の対外経済開放政策の一環として、1984年に14の沿海開放都市が指定された。外国資本を積極的に導入し、飛躍的發展を遂げる。

という不動産の売買を可能としたので、**経済を好転させることになりました。**

しかし、2000年代以降、この**売買は地方政権の餌食となり大量の土地が「私的に売買」されるようになり**ました。中央政府による分税制度によって減収となった地方政権は、利益をあげるために、**不動産の売買、大工場誘**

致に走ることとなりました。この過程で今日まで、**不良債権や環境問題など深刻な問題が次々と発生し、中央政治は取締りを強化するが、地方政権は一度知った甘い汁をそうそう手放さず、腐敗は極度に進行していきます。**こうして、**地方政権にも大きな格差が生じて、大都市部と辺境な地域の人々の収入、利益、価値観、情報交換手段の劇的な変化に大きな差異が明らかに生じてきています。**この都市部、地方の共産党エリート層は、**企業幹部となり巨万の富を得て腐敗、墮落しており、人民との貧富の差は一目瞭然となり、暴動が絶えない状態が続いています。**習近平指導部は、**徹底した取り締まりと更迭、財産没収などで対応を余儀なく**されています。しかし、**A I I B (アジア投資銀行) の発足、「二帯一路」の経済政策など、中国のアジア、EUとの連携強化は、市場経済システムの一層深化した形態といえます。**どこまで

發展するのか、いつ資本主義の法則としての、**バブル崩壊** 恐慌を誘発するの**かは、もう少し、推移を見なければ**わかりません。

司会 ところで現存社会主義国中国について検討してきました。改革開放後「**社会主義市場経済**」の導入、世界で2番目の経済大国に成長した中国が、**共産党エリート富裕層と圧倒的に多い労働者、農民工、少年工などの広がる格差をはたして是正できるのでしょうか。**国家体制は、**社会主義国だが経済は市場経済の資本主義経済の延長という根本矛盾を抱えつつ、共産党一党支配がどこまで続くのでしょうか。**現在**9000万人共産党員による民主的な下からの指導者選出システムがない中、その前途は多難といえるのではない**でしょうか。次回12月号はこの講座の最終回です。ソ連崩壊以後も、**社会主義を貫いてきたキューバ共和国の社会主義建設に学ぶ内容になります。**